

# APEC 成長戦略ハイレベル会合結果概要

平成22年8月8日  
内閣府・経済産業省

8月7日、8日に、大分県別府市にて、「APEC 成長戦略ハイレベル会合」が開催され、荒井国家戦略担当大臣兼内閣府特命担当大臣（経済財政政策担当）、直嶋経済産業大臣が議長を務めた（武正外務副大臣、松下経済産業副大臣が出席）。概要は以下のとおり。

## 1. APEC 成長戦略ハイレベル会合について

2009年のAPEC首脳会議における指示を踏まえ、2010年の日本APECにおいて、APECで初めての、中長期的かつ包括的な成長戦略策定に取り組んでいる。今回、各国・地域の成長戦略の政策担当者に加え、産業界、学界の有識者、関係国際機関の長が一堂に会して、知見や提案を持ち寄り議論。

APEC 成長戦略の理念と実行について考え方を共有し、11月の横浜の首脳会合でのとりまとめに向けた貢献を行った。

## 2. APEC 成長戦略の理念について

### (1) APEC 成長戦略の意義

アジア太平洋地域が「世界の成長センター」として、世界の経済成長に責任を有していることを確認。APECは、成長戦略を通じて世界経済の成長の質の改善に貢献すべきとの認識を共有。

### (2) 5つの成長要因を確認

質の高い成長として、「均衡ある」、「あまねく広がる」、「持続可能」で、「革新的」かつ「安全」な成長の実現に向け、共同かつ包括的に取り組むことを確認。

### 3. 成長戦略の実行について

#### (1) 行動計画の策定を提唱

5つの成長要因の実現に向け、構造改革、グリーン成長、知識経済の創造等に関する具体的行動を行動計画等にしていくべきであることを提案。

#### (2) フォローアップメカニズムを提唱

戦略に基づく取組の進展を毎年評価し、2015年に首脳に報告することを提唱。また、その時点で、成長戦略の将来の方向性について再度検討することを提唱。

#### (3) 実行力向上に向けた更なる方策

成長戦略の実行の進捗を評価する具体的指標の検討等を議論。特に、APECにおけるエネルギー効率化目標（2030年までに25%改善する（対2005年比））については、目標年の前倒しや、目標数値の深堀を検討すべきとの議論がなされ、今後、議論を継続することとなった。

### 4. 成長戦略の各要因の実現のあり方について

#### (1) 「均衡ある成長」

APECがG20の取組を補完。特にAPECは各国・地域の実情を踏まえつつ、規制改革や制度整備、官民連携の強化等の構造改革に注力。

#### (2) 「あまねく広がる成長」

すべての市民が力強く成功する機会を有するよう、雇用創出や中小企業支援、女性の機会創出等に取り組む。

#### (3) 「持続可能な成長」

グリーン経済へ移行するため、省エネルギーや低炭素エネルギーに関する政策協力を強化し、知財、標準の整備等による、グリーンイノベーションの促進、環境物品サービスに関する貿易・投資の促進に取り組む。

#### (4) 「革新的成長」

研究開発を促進する環境を整備し、ITの利活用や、高度人材の交流、知財や標準に関する制度整備に関する協力を強化する。

#### (5) 「安全な成長」

食料安全保障等の人間の安全保障に取り組む。